

深川東京

fukagawa tokyo modankan news

モダン館だより



給食の懐かしい味!

キッチン松ぼっくり



8月11日(木祝) 11:45~14:00

中華風スパゲッティ
なすのあんかけ
フルーツシャーベット



松

※完売次第、閉店いたします ※ご予約はできません
※メニューを一部変更する場合があります

700円

揚げパンは1個50円

8月のカレンダー 催し物の詳細は2面をご覧ください

月	火	水	木	金	土	日	
1 休館日	2	3	4	5	6	7	
8 休館日	9	10	キッチン 11 松ぼっくり 営業日	12	13 	14	
15 休館日	16	17	18	19	20	21	
22 休館日	23		24 	25	26 おきがる講座	27 おきがる講座	28 圓橘の会
29 休館日	30 嘶+話	31					

開館時間 10:00-18:00 (金・土曜日は19:00まで)

8月の催し



共催

圓橘の会

8月28日(日) 15:00～

(開場14:30)

くるわばなし
三遊亭圓橘 廓噺「山崎屋」

“バラと呼んでいる花を別の名前にしてみても美しい香りはそのまま”
シェイクスピア『ロミオとジュリエット』より

きどう
岡本綺堂・作 山の怪「木曾の旅人」

予約 2,500円 当日 2,800円 定員 50名 ※8月16日(火) 10時から受付開始

共催

噺 + 話

8月30日(火) 14:00～

(開場13:30)

雷門音助「星野屋」

+ 龍澤潤「演題にちなんだ話」

おきがる講座と落語会モダン亭のコラボ

定員 20名

予約・当日 1,500円

※8月16日(火) 10時から受付開始



主催

おきがる講座

江東区の歴史をまなぶ

8月26日(金)・27日(土) 13:00～14:30 渋沢栄一ゆかりの事業5「製網業」

8月26日(金)・27日(土) 15:00～16:30 渋沢栄一ゆかりの人々10「益田孝」

受講料 500円 定員 各回20名(要予約)

講師 龍澤潤(深川東京モダン館)

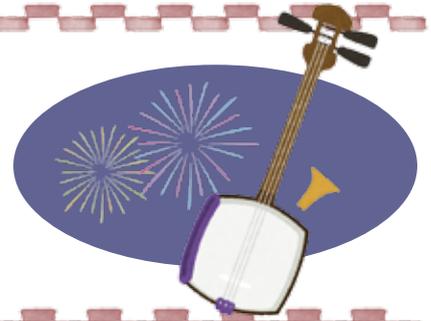
※8月9日(火) 10時から電話で受付予約

※当館の催し物のご予約は 10時から お電話 03-5639-1776 まで

●お客様へのお願い

- ・次に該当するお客様のご来場は、ご遠慮いただきますようお願いいたします。
37.5度以上の発熱があるお客様 咳、喉の痛み等の症状があるお客様
過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴があるお客様
- ・マスクを着用でないお客様のご入場はご遠慮いただきます。咳エチケットにご協力をお願いいたします。
- ・手洗いと手指消毒にご協力をお願いいたします。
- ・催し物にご参加されるお客様には、氏名・連絡先等を確認させていただく場合がございます。

深川と芸人 その世界



小さい頃から落語などの演芸が好きでした。趣味が高じて演芸本、江戸・東京や花街関係の書籍・雑誌を集めた私設図書館を開いています。

隅田川を越えれば寄席の「人形町末広」がありました。小学生が足を運ぶには遠かった。もっぱらテレビ番組で演芸を楽しみました。『お笑いタッグ・マッチ』や『日曜演芸会』。中学生になった頃、日本テレビ『東宝名人会』で柳家三亀松を初めて観た。黒紋付きの着流しに三味線を抱えて都々逸を唄う。「明けの鐘 ごとと鳴るころ 三日月形の 櫛が落ちてる 四畳半」訳わからずとも艶っぽさに惹かれました。

大学に入り演芸本を探して神保町を徘徊している時、手に入れたのが『ご存じ三亀松色ざんげ』（1969年、柳家三亀松、立風書房）。自伝によると、三亀松は明治34年に深川元加賀町（現・三好4）で生まれ、吉永町の材木問屋「才信」に奉公。女中頭にいたずらし仙台堀へ投げ込まれたとある。吉永町は現在の平野3丁目、深川北スポーツセンター辺りらしい。その後三亀松は川並となるが、芸事好きから深川の幫間桜川木場平に

転身。やがて新内流しから寄席芸人へ。木場3丁目に住んで10年。あこがれの粋人がこんな近くで活躍していたとはうれしい。ご縁ですね。

「幫間」という接客業の絶滅危惧種が現在もいるのは浅草。悠玄亭玉八、桜川米七など7名が浅草検番に籍を置く。他の花街にはいないようで、向島へも出張しているとか。玉八と米七の師匠が悠玄亭玉介。明治40年浅草生まれの玉介を追っかけまとめた幫間世界のドキュメントが『いつもお祭り気分』（1987年、筏丸けいこ、亜紀書房）。歌舞伎好きから流しの声色屋、落語家、そして常磐津や踊りを習い幫間に。81歳の玉介、洒脱です。

数年前、深川七福神ガイドの下見で冬木弁天堂を訪れた時、玉垣に悠玄亭玉介の名を見つけびっくり。近くには「深川芸妓組合」や閉店した料亭「仲町金柳」の玉垣もある。深川からもお座敷が掛かったのかな。

永井荷風が落語家の前座修行した「常盤亭」やお客がたいそう来た黒江町の「桜館」などかつては深川に多くの寄席があった。まだまだ深川には芸人のお噂がありそうです。



『ご存じ三亀松色ざんげ』と『いつもお祭り気分』



6月28日「噺+話」会場にて（出演：柳家小志ん）

（文と写真 江東区文化観光ガイド 渡邊信夫）

深川東京モダン館では江東区文化観光ガイドによる館内のご案内（10時～16時）およびご希望によりモダン館周辺のまちあるきツアー（1時間程度、11時・14時出発）を行っています。※新型コロナウイルス感染状況によって中止になる場合があります。※諸事情によりガイド不在の場合もあります。

貸会議室・多目的スペース

深川東京モダン館では2階の多目的スペースと会議室をお貸し出ししています。ミーティングやイベントを行うスペースなどにご利用ください。

◆会議室 (20㎡)

利用日時：開館日時 利用例：社内ミーティング、商談、お花・書道・語学の教室等

◆多目的スペース (80㎡)

利用日時：開館日時 利用例：展示、イベント、社内研修、演劇の公演、講演会、教室等



多目的スペース



会議室

※料金、ご予約（ご利用日の半年前から受付）詳細については、お電話またはメールにてお問い合わせ下さい。

※スクリーン、プロジェクター、マイクなど機器類もご利用いただけますので、ご相談ください。

ガイドブック・お土産品

深川東京モダン館1階では、まちあるきに役立つガイドブックや江東区の文化財ガイドなどを販売しています。

- ・『江東区の文化財』各地域
- ・江東区観光キャラクター
コトミちゃんグッズ各種
(タオルハンカチ ステンレスボトル等)
- ・江東区の名所を描いた絵はがき
(水彩・切絵・写真)
- ・もくレース
- ・深川めしの素
- ・ちくま味噌 甘酒
- ・はちみつ
- ・ゲイシャコーヒー
- ・Tシャツ 等

江東区の郷土料理を
ご家庭で

深川めしの素
(深川宿)
1個 700円(税込)



百圓珈琲

1F カウンターでは 100 円のコーヒーをご提供しております。
ホットコーヒー「小樽」「ベイキャメル」「モダン館ブレンド」(しつかり・すっきり)、そして季節限定の「冷やし」の5種類をご用意しております。
まちあるきの休憩時や会社のお昼休み中の一服にどうぞ。



開館日および開館時間

10:00-18:00 (金・土曜日は19:00まで)

休館日:月曜日

(月曜日が祝日の場合、翌火曜日が休館となります)



「深川東京モダン館だより」第112号(2022年7月22日)

発行 (一社)江東区観光協会 深川東京モダン館

〒135-0048 東京都江東区門前仲町1-19-15

TEL 03-5639-1776 FAX 03-5620-1632

Mail info@fukagawatokyo.com

ホームページ www.fukagawatokyo.com

